



キリスト者共同体東京集会

2019年夏～ミカエル祭の催し案内

9月1日（日）13:00～15:00

儀式音楽講座

未来へ向けてのクリスマス聖歌

～キリスト者共同体の儀式音楽を深める集い

吉田和彦（ピアニスト、キリスト者共同体儀式音楽部門所属）

恒例の吉田和彦氏による儀式音楽講座、今年は聖誕祭の聖歌の練習を中心に学びます。

ごあいさつ

恒例となった夏の音楽講座ですが、今年は集中して皆様と共に新しい聖歌、特に聖誕祭の聖歌の練習に励みたいと思います。

毎年12月になると世界の至る街角で私たちの良く知るポピュラーなクリスマスソング、例えば『ジングルベル』や『赤い鼻のトナカイ』そして『モミの木』や『ホワイト・クリスマス』等々がスピーカーから流れ、それを聴いて誰もがクリスマスの気分に入るのだと思いますが、その時心に描かれるイメージといえば大抵の場合地上的なもの、つまり雪の降る景色であるとか、そこを滑走するソリだとか、暖炉の前に色とりどりに飾られたクリスマスツリーなど、日常的な感覚で容易に把握出来る事ばかりではないでしょうか？

しかし人間聖化式を通してクリスマスを経験する時、そこには日常的な感覚を越えた大いなる宇宙的な諸力が結集し、私たちの生きる大地にとりわけ深い作用を及ぼしていることが認識もしくは予感出来るようになります。更にその際にはイエスの誕生のみならず、そこに至るまでの人類発展の大きな流れを回顧し新たに意識に昇らせる訳です。その様に聖誕祭を祝う、ある意味では特別な人間聖化式の為には、それに相応しい音楽や聖歌が求められるは必然的な事なのです。

そうした背景を踏まえて作られた聖誕祭の聖歌を少しずつ紐解きながら、誰もが喜びを以って歌うことが出来る様に、皆さんと共に練習致しましょう。

吉田和彦

☆ ☆ ☆

8月4日（日）聖化式後 東西交流の集い

ミュンヘンの吉田和彦氏他、ドイツからのお客様との交流会～休暇中の司祭をはじめ、共同体やシュタイナー関係者の方々が集会を訪問します。ぜひ歓待をして交流しましょう！

2016年の夏にドイツの友人を引き連れ総勢12名で日本旅行をし、その際久が原の集会所を訪れ、皆さんが暖かく私共をお迎え下さり、言葉の壁を越えて楽しく団欒したことは今でも鮮明に記憶に残っておりますが、3年後のこの夏、再び総勢10名で日本を旅行することになりました。今回のメンバーは3年前にも久が原を訪れたアウアーバツハ夫妻と私共夫婦の他にキリスト者共同体の司祭2名（その内一人は奥様と、そしてもう一人は20歳の娘さんと）そしてミュンヘン・アントロポゾフィー協会の代表理事とその奥様という顔ぶれで、8月2日に成田に着き23日に帰国の途に着くまでの3週間、寄り道をしながら鹿児島にまで足を延ばす予定になっています。東京滞在は最初の3泊4日ですので、その際の8月4日に久が原集会所を訪れ、成員や友人の皆様と共に人間聖化式に参加し、その後、皆さまと交流の時間が持てれば嬉しく思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。（吉田和彦）

9月8日(日) 礼拝後 福音を読む

秋に向かう魂の深まり ～ルカ福音書 17章から

興石祥三

夏から秋への変化が少しずつ感じられる時期、
聖化式のペリコーペとなる福音を読むひと時で
す。

10月6日(日) 11:45～12:45 考察

ミカエル祭のエピステル

興石麗

祝祭の祈りの言葉である聖化式のエピステルに、キ
リストの顔として現われる時代霊ミカエルは私たち
に何を語るのでしょうか？ これから生きるため
の指針として考察します。



10月13日(日) 13:00～15:00 シュトックマン司祭を迎えて

講演 “白衣の若者の謎 ～エーテル的なものの痕跡を求めて”

講師：クラウドディア・シュトックマン
(フランス・コルマール集会所司祭)



ミカエル祭は、私たちに新たにキリストに向かう道を見出すよう促す祝祭です。

マルコ福音書には、弟子達がキリストに出会ういくつかの場面に、白い衣を着た若者が登場します。この若者は一体誰なのでしょう？ 復活したキリストは人々に「私はお前たちよりも先にガリラヤに行く」と語りましたが、この「ガリラヤ」とはエーテル的領域そのものを指し、白い衣を着た若者はそこに至る案内人でもあるのです。

ラヴェンナの礼拝堂に掲げられたモザイク画にはこの秘密を解き明かす鍵が見出せます。今回はこの絵画を鑑賞しながら、エーテル界のキリストに導くこの若者に共に思いを向け、私たち一人一人のキリストへの道を探ってみたいと思います。

皆様のお越しをお待ちしております。講演には日本語通訳がつきます。

以上の催しは久が原集会所で行われます。入場無料、会場にて自由なご寄付をお願いします。

キリスト者共同体東京集会所 久が原集会所 〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-16-19 1F
Tel/Fax : 03-3757-4917 tokyo@irisutoshakyodotai.org <http://www.kirisutoshakyodotai.org>